

第11回 教育懇談会

子どもの体力向上や競技力の強化など、
あいちのスポーツ振興について

愛知県スポーツ推進計画(平成25年3月策定)

いきいきあいち スポーツプラン

～ 豊かなスポーツライフの創造 ～

スポーツ基本法第10条第1項に規定する
「地方スポーツ推進計画」

県民一人一人のライフステージや興味関心に応じて
「いつでも」 「どこでも」 「いつまでも」
スポーツに親しむことができ
活力ある「スポーツ愛知」を実現する

※平成25年度(2013年度)から平成34年度(2022年度)までの10年間の計画

愛知県スポーツ推進計画の基本施策

1 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実

子どもの体力水準の低下や運動する子としない子の二極化



今後10年以内に、子どもの体力が
昭和60年頃の体力水準を上回ることを目指す

2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

いつでも、どこでも、いつまでも
安全にスポーツに親しめる環境は
明るく豊かで活力ある社会に不可欠



成人の週1回以上の**スポーツ実施率60%以上**
成人の**スポーツ未実施者(年間通し)ゼロ**
を目標とする

3 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備

総合型クラブ、企業・大学等との連携
による地域スポーツの普及・発展活動



行政だけでなく、地域住民やスポーツ団体、学
校、企業等が積極的にかかわり、**生涯スポー
ツ社会の実現**を目指す

4 競技力の向上を目指す取組の推進

国際大会等による本県選手の活躍によ
る県民へのスポーツへの関心の高揚

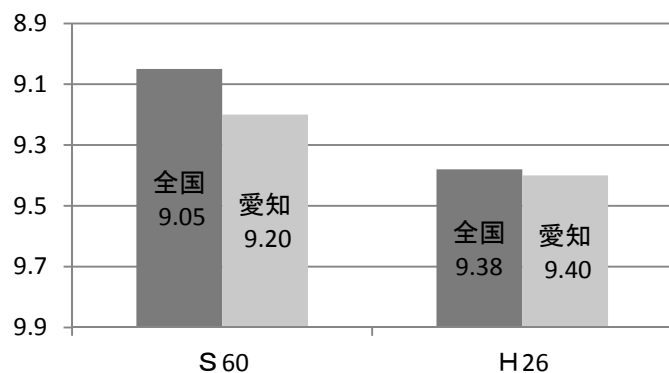


競技力の高い選手を有する**企業・大学・競技
団体との連携**を図り、**競技スポーツの更なる
普及・推進**に取り組む

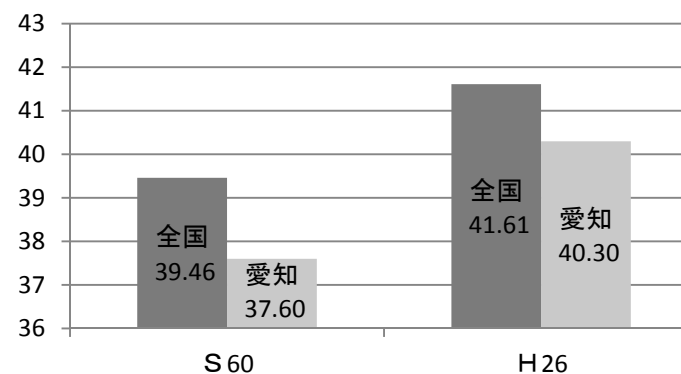
昭和60年と現在における体力テスト結果の比較(小学5年男子)

小学5年男子について、昭和60年と比較可能な4種目では、全国平均・愛知平均ともに反復横とびを除く3種目の記録は低下しており、特にソフトボール投げは大きく低下している。(資料:文部科学省)

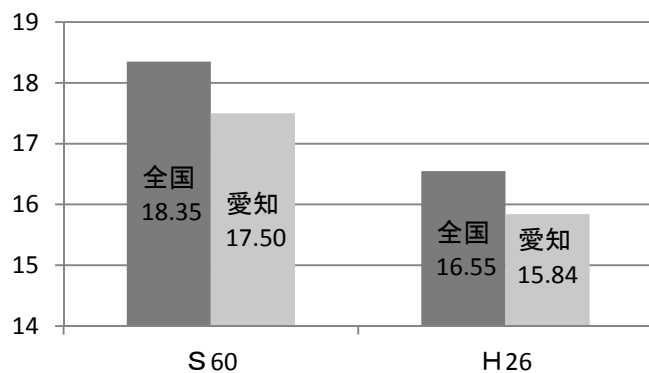
(秒) 50m走(小5男子)



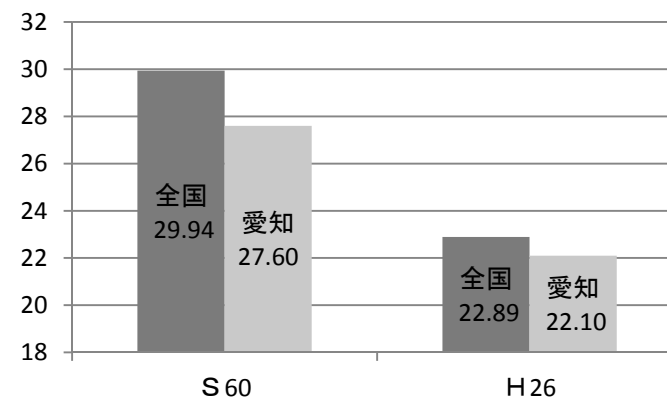
(回) 反復横とび(小5男子)



(Kg) 握力(小5男子)

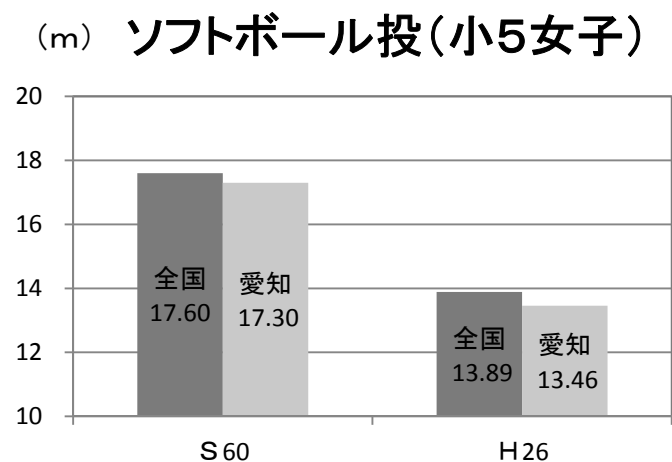
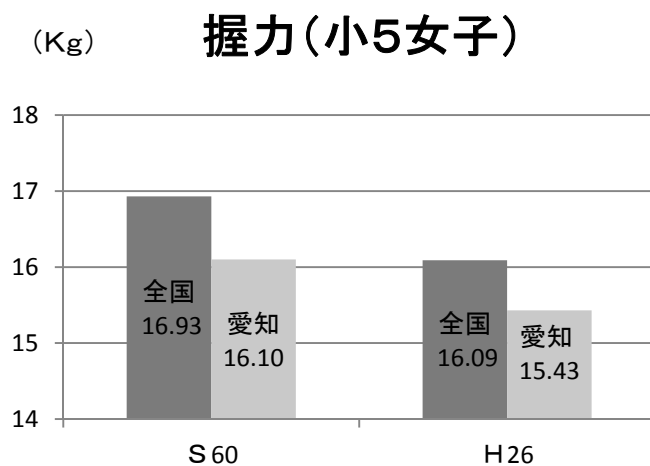
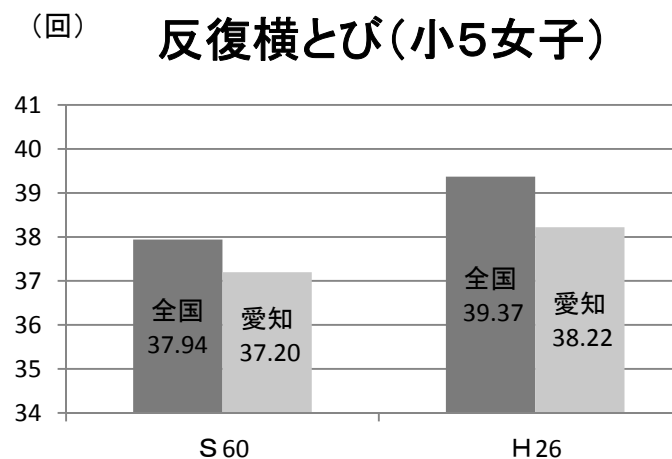
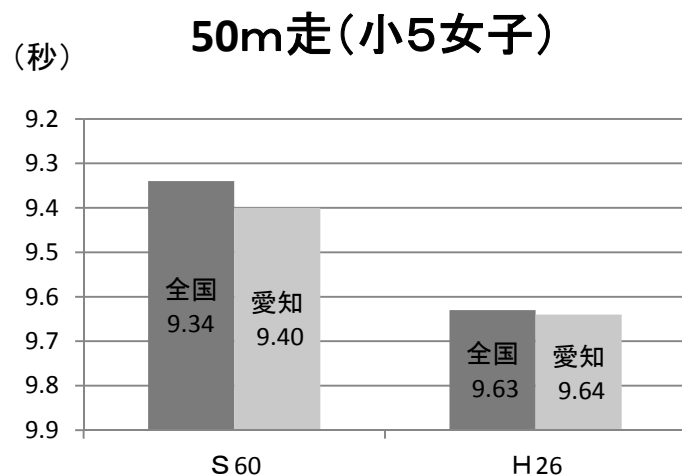


(m) ソフトボール投(小5男子)



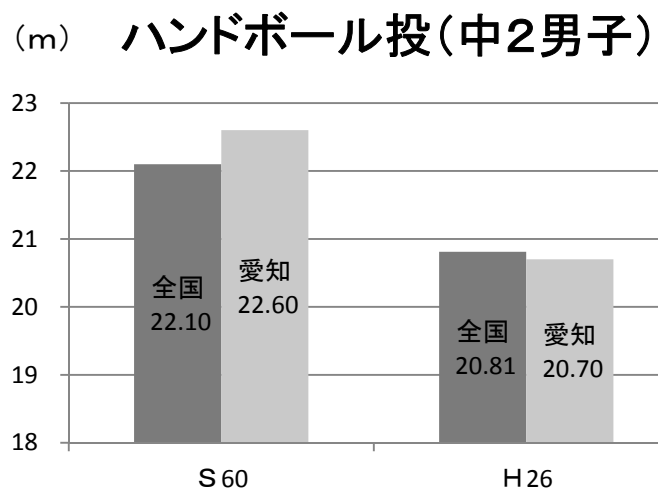
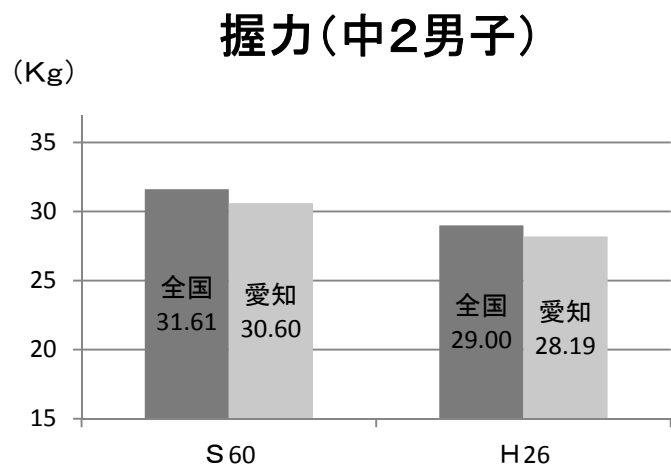
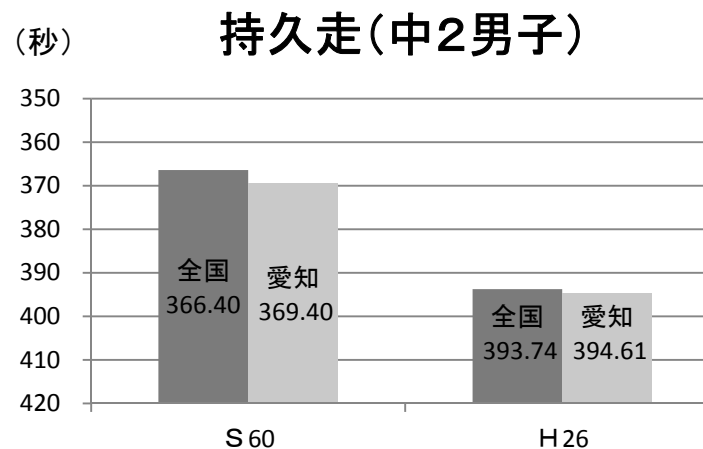
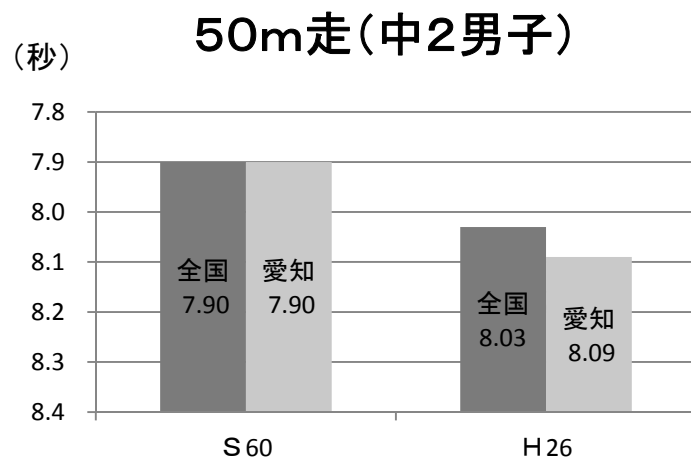
昭和60年と現在における体力テスト結果の比較(小学5年女子)

小学5年女子についても昭和60年との比較では、全国平均、愛知平均ともに小学5年男子と同様の傾向が見られる。(資料:文部科学省)



昭和60年と現在における体力テスト結果の比較(中学2年男子)

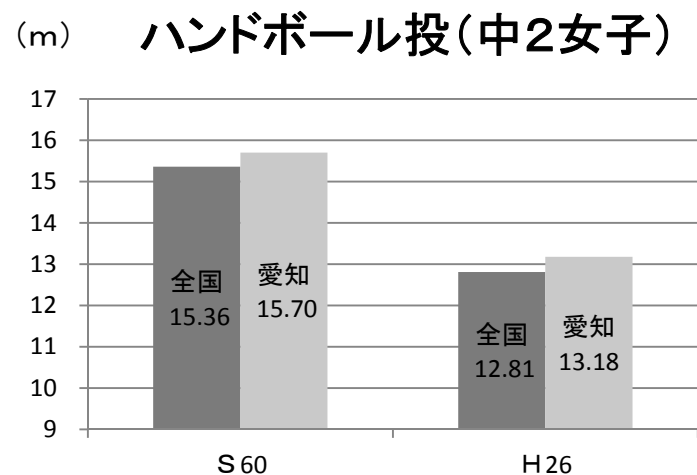
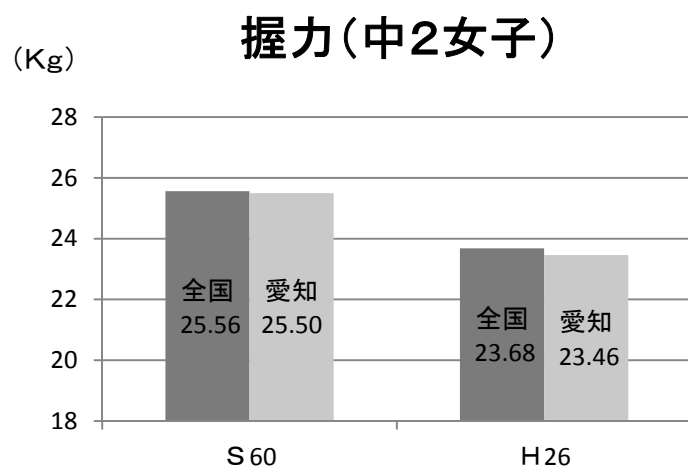
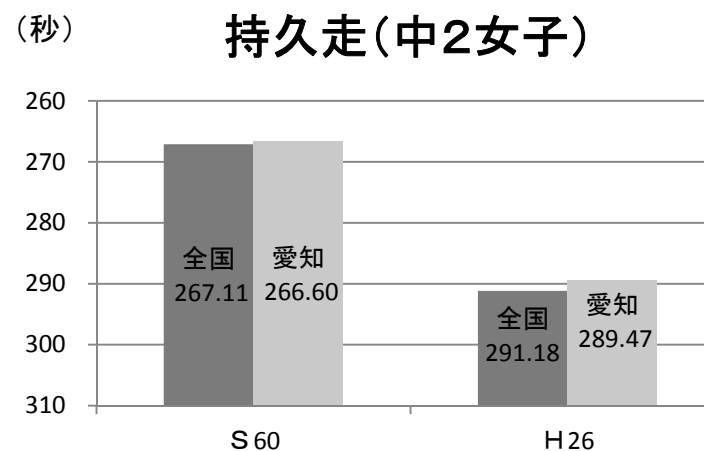
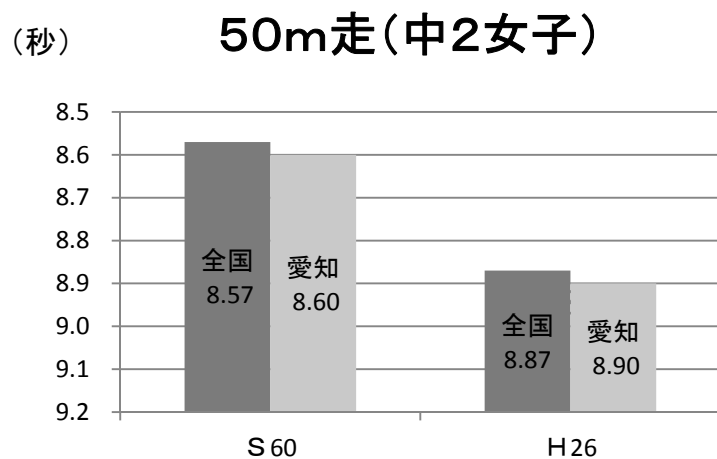
中学2年男子について、昭和60年と比較可能な4種目では、全国平均、愛知平均ともに低下しており、特にハンドボール投げと持久走の低下が著しい。(資料:文部科学省)



昭和60年と現在における体力テスト結果の比較(中学2年女子)

中学2年女子については、全国平均、愛知平均ともに低下しており、特にハンドボール投げと持久走の低下は著しい。持久走とハンドボール投げについては愛知平均が全国平均を上回っている。

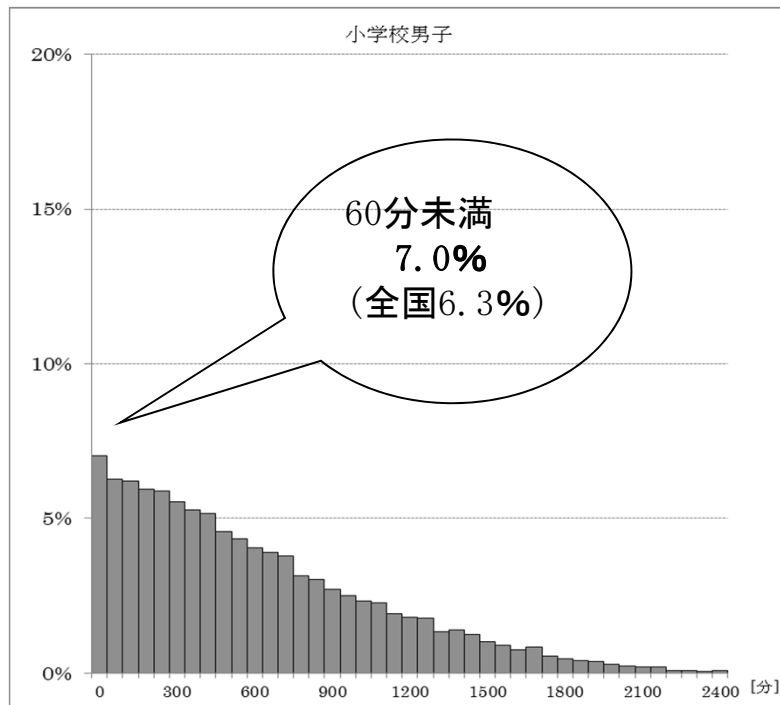
(資料: 文部科学省)



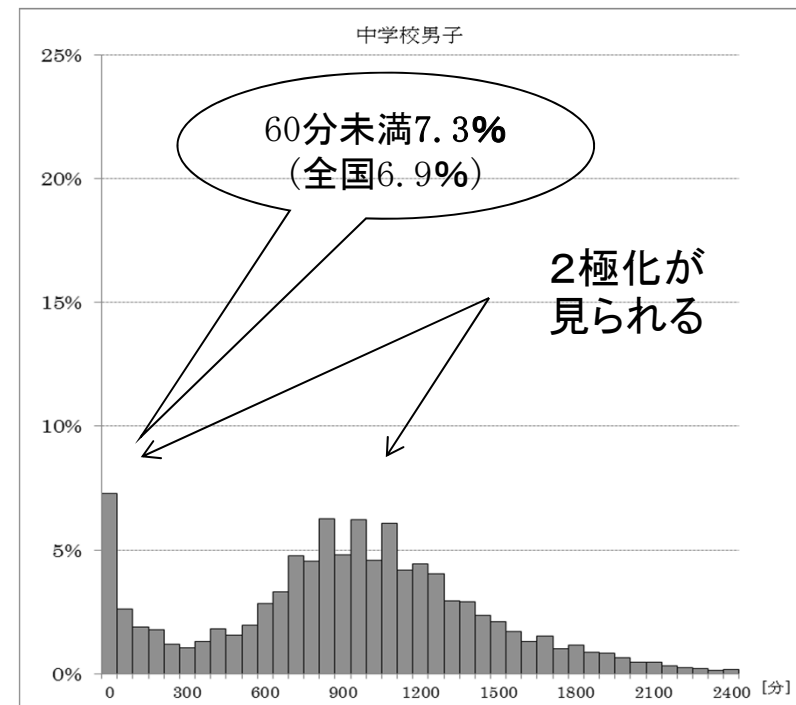
児童・生徒の1週間あたりの総運動時間比較(男子)

愛知県の小学5年男子の7.0%、中学2年男子の7.3%が一週間の総運動時間が60分未満であった。また、中学2年男子では運動する生徒としない生徒の2極化が見られる。

(小学5年 男子)



(中学2年 男子)

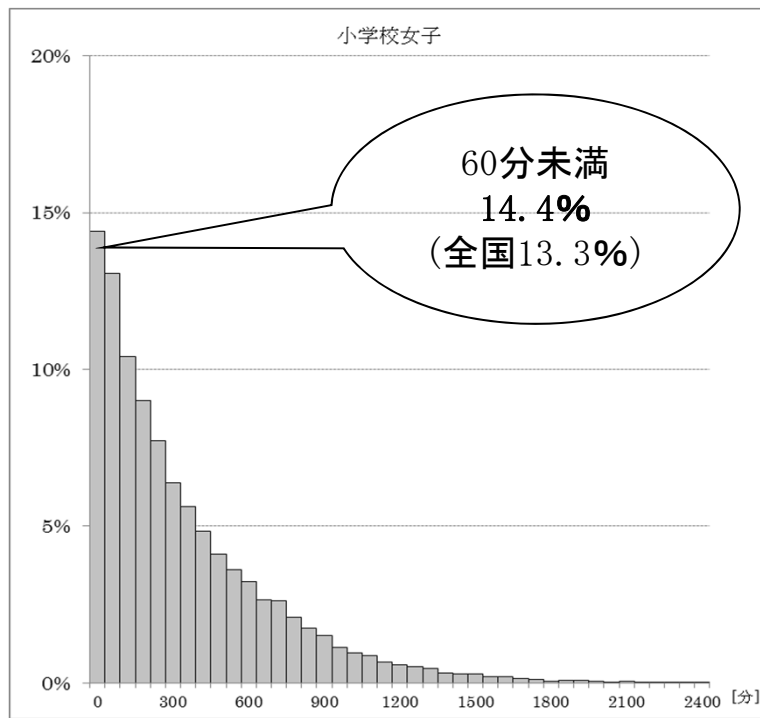


資料:平成26年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 (愛知県 小5年男子 中学2年男子)

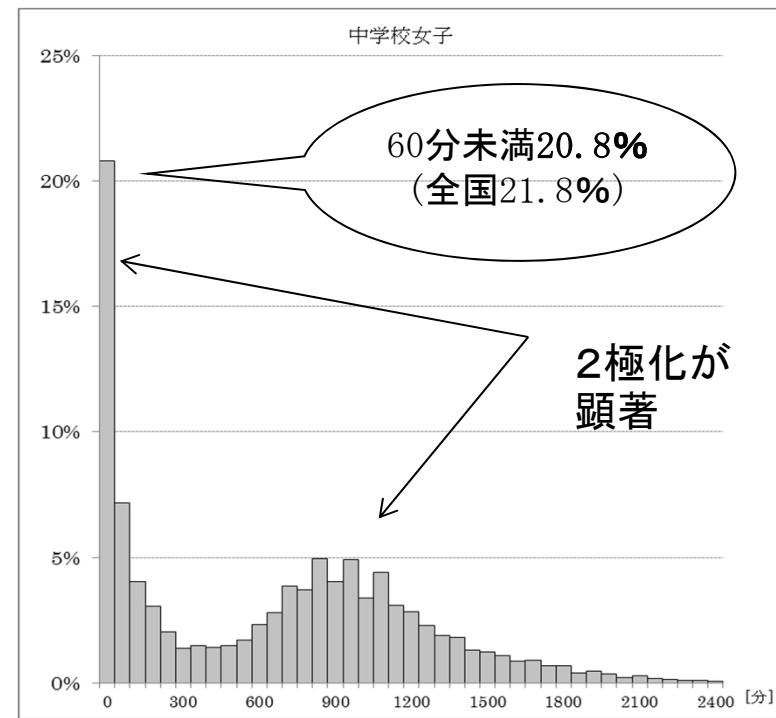
児童・生徒の1週間あたりの総運動時間比較(女子)

愛知県の小学5年女子の14.4%、中学2年女子の20.8%が一週間の総運動時間が60分未満であった。また、中学2年女子は運動する生徒としない生徒の2極化が顕著である。

(小学5年 女子)



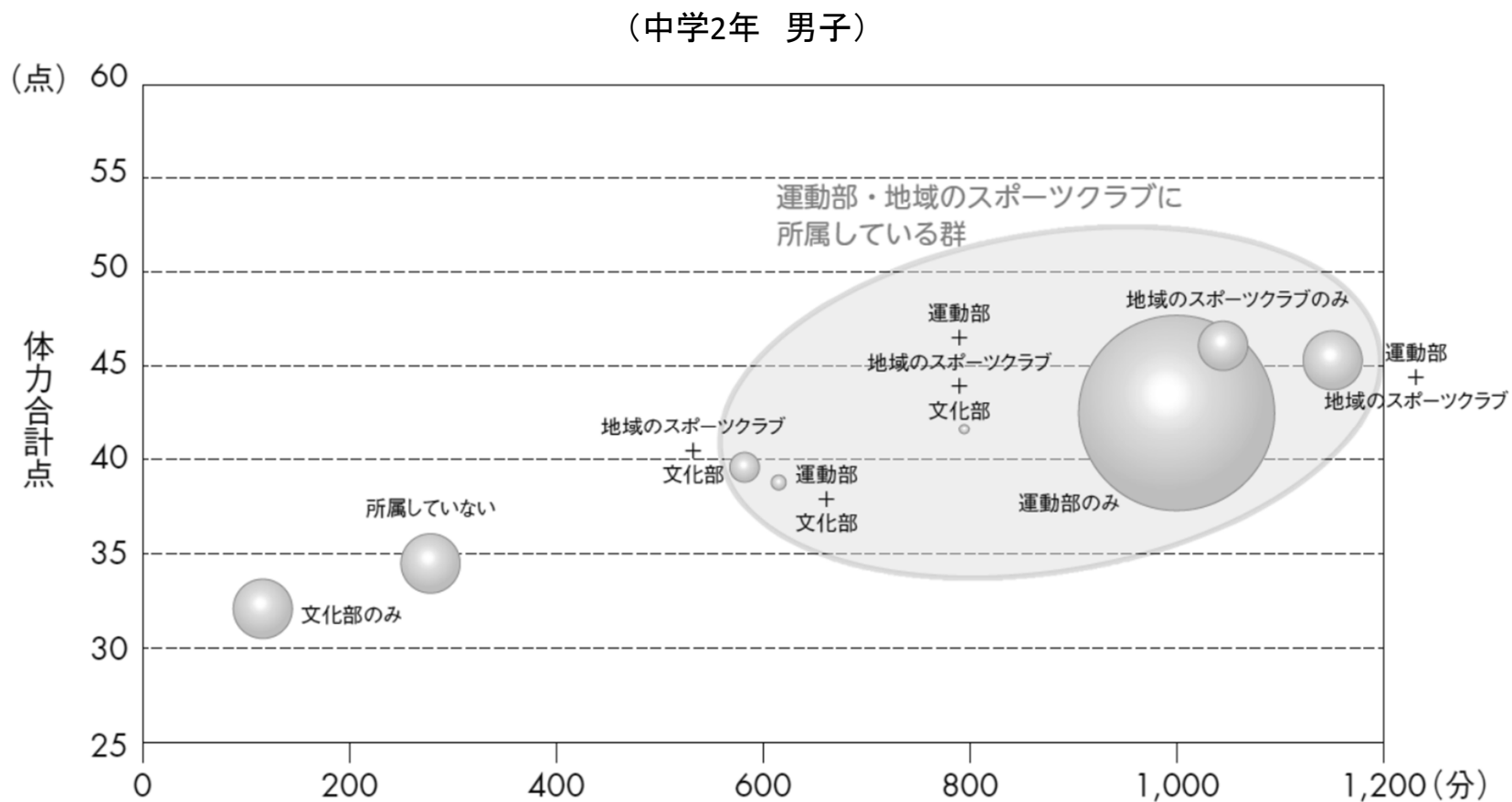
(中学2年 女子)



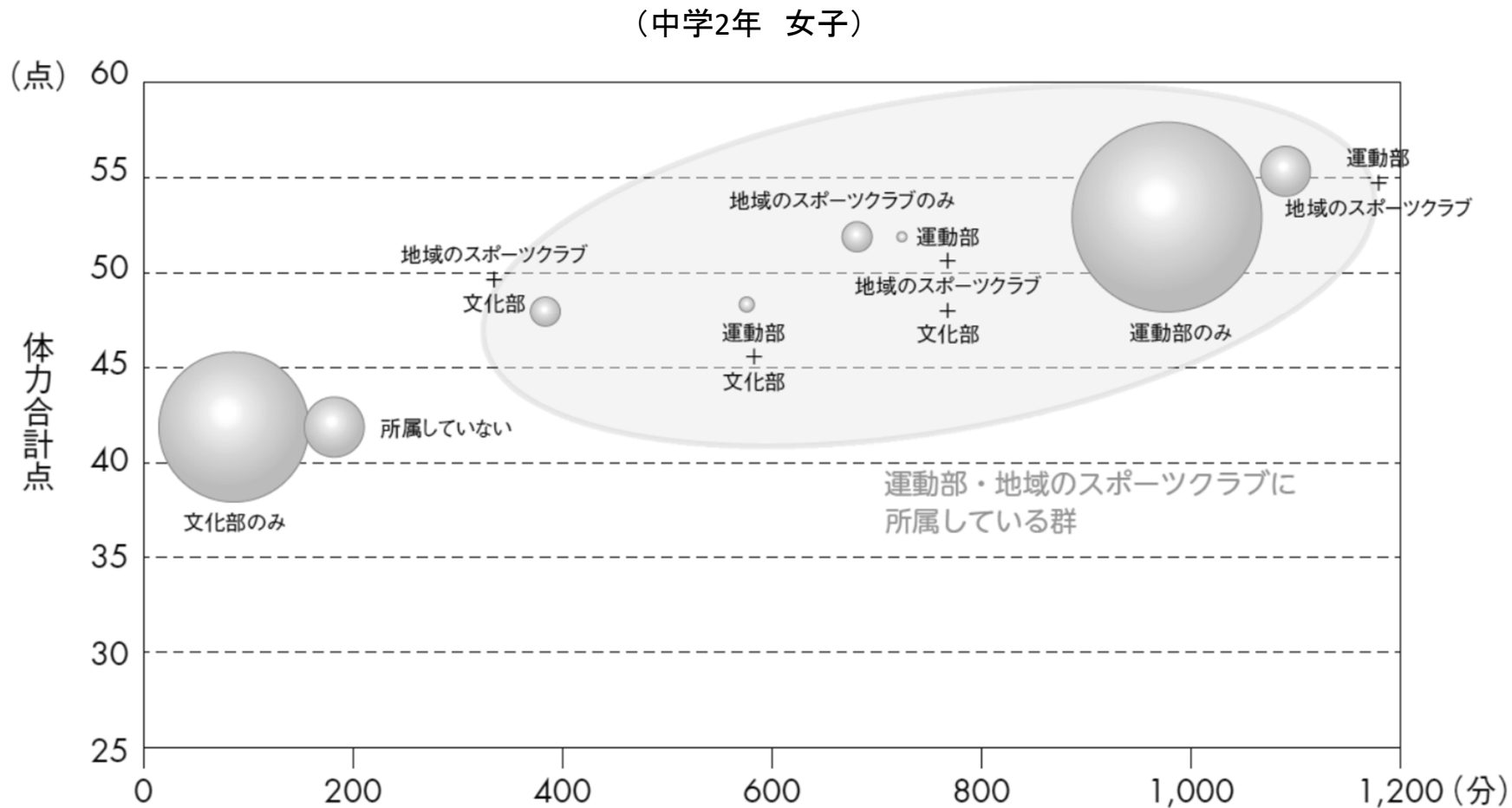
資料:平成26年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 (愛知県 小5女子、中2女子)

部活動への所属状況と1週間の総運動時間、体力合計点(中学2年男子・全国)

中学2年男女とも、学校の運動部や地域のスポーツクラブに所属している群は、1週間の総運動時間が長く、体力合計点が高かった。



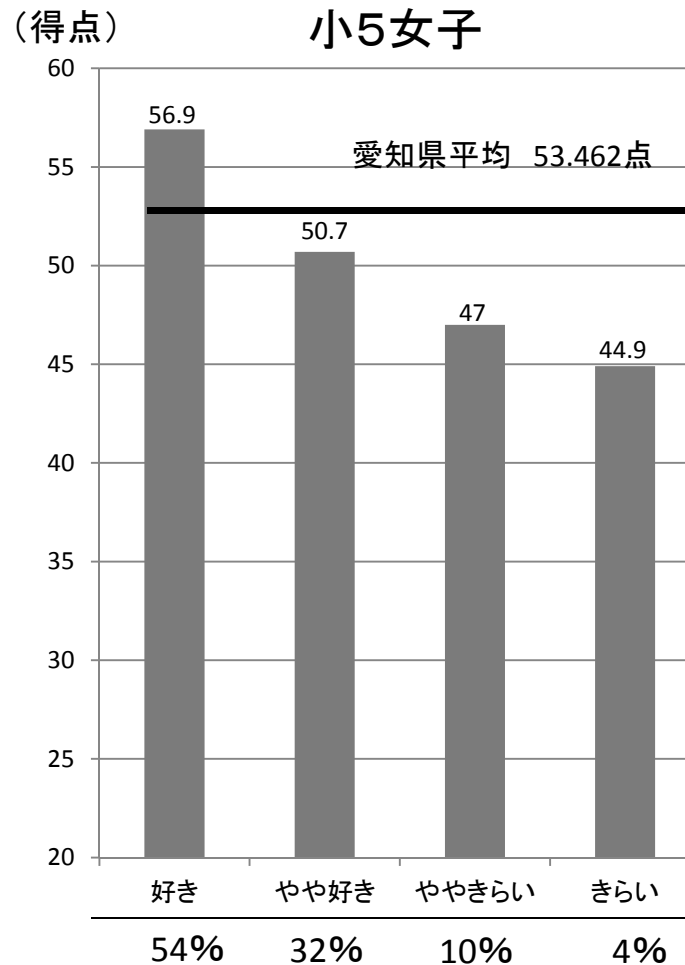
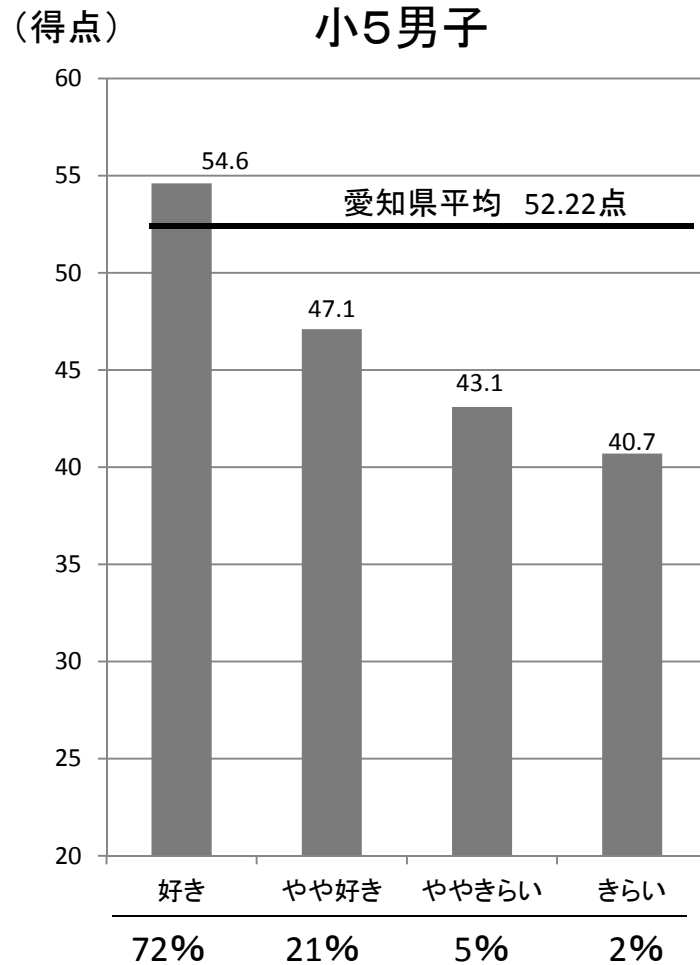
部活動への所属状況と1週間の総運動時間、体力合計点(中学2年女子・全国)



資料:平成26年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果(全国)

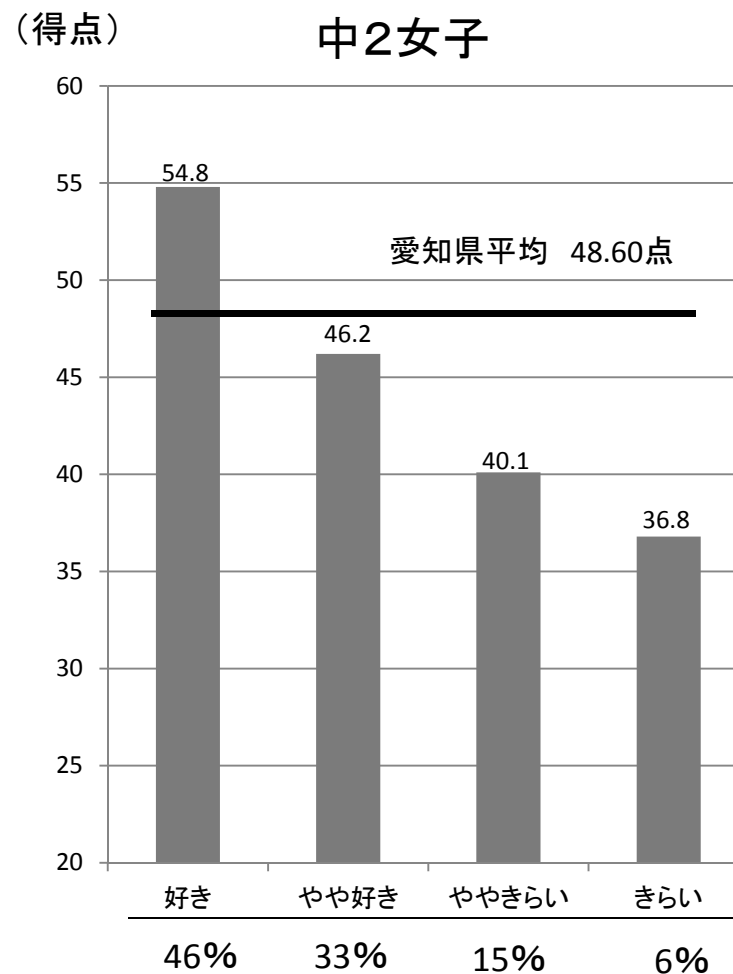
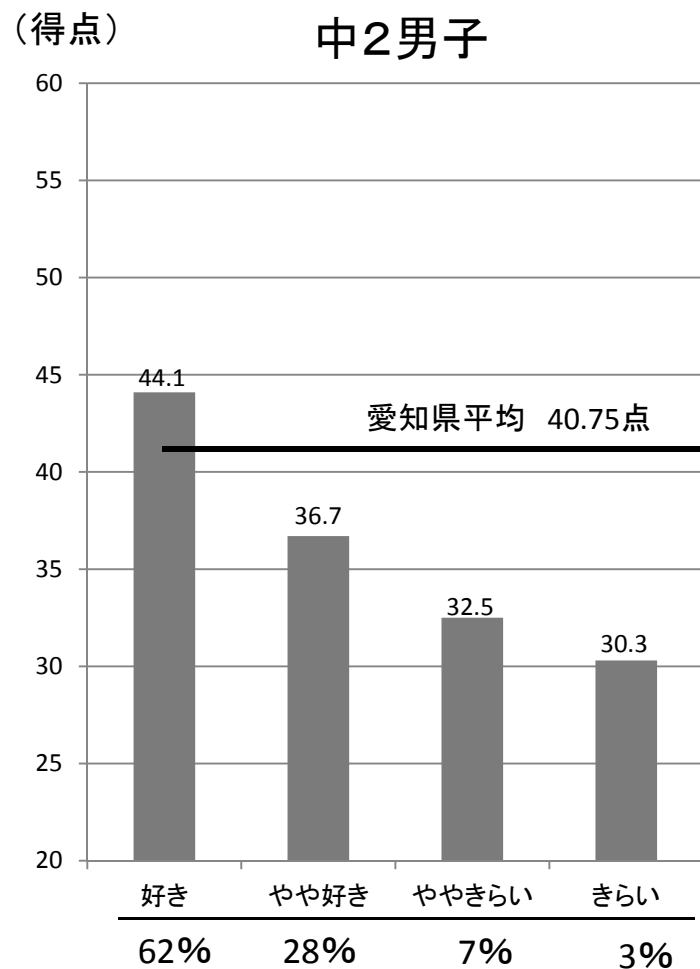
体力テスト合計点と運動好き・運動嫌いの関係(小学5年)

運動が「好き」と回答した児童ほど体力テストの合計得点が高い。



体力テスト合計点と運動好き・運動嫌いの関係(中学2年)

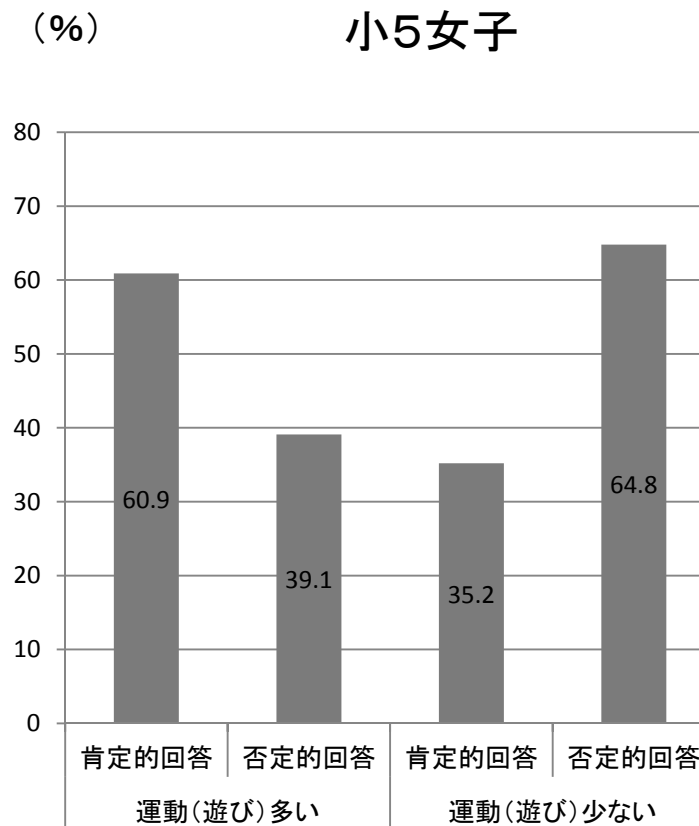
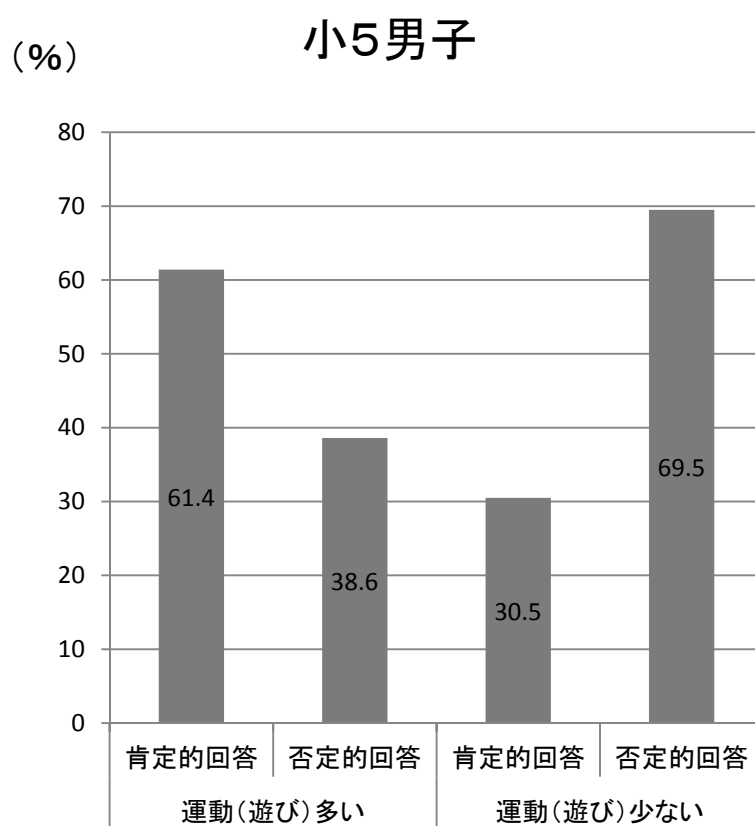
運動が「好き」と回答した生徒ほど体力テストの合計得点が高い。



資料:平成26年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 (愛知県 中学2年)

家庭での運動の「有無」と運動に対する考え方の関係

小学校入学前に「家の人との運動(遊び)の頻度が多かった」と回答した児童は「運動」に対する肯定的回答が多い。



資料:平成26年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 (愛知県 小学5年)

子どもの体力向上に向けた本県の取組

■「子どもの体力向上運動プログラム」

体力を高めていくためには、運動が楽しいと感じられる子ども、自ら運動に親しむことができる子どもを育てることが大切であると考え、低年齢の時期からいろいろな運動や遊びを体験させ、運動能力の基礎を培っていくことをねらいとした、「運動プログラム」を県独自に作成した。

平成22年度 小学校低中学年対象 「子どもの体力向上運動プログラム」作成
DVD・リーフレットを県内小学校に配付

平成24年度 「子どもの体力向上運動プログラム・活用事例集」作成
教育委員会ホームページで公開

平成25年度 小学校高学年対象 「子どもの体力向上運動プログラム」作成
教育委員会ホームページで公開

平成27年度 「子どもの体力向上運動プログラム」を学校だけでなく家庭でも取り
組めるよう「子どもスポーツふれあい事業」を実施

「子どもの体力向上運動プログラム」実践例

楽しみながら体を動かすことに重点を置き、「もっとうまくなりたい」「もっとやりたい」といった気持ちを引き出すことにより、運動好きな児童を育てることをねらいとしている。また、体育授業での取組だけでなく、放課後や家庭においても工夫して楽しめるような内容の運動(遊び)となっている。



【2人でせいの】

背中合わせで座った姿勢から、バランスを保って立ったり座ったりする。



【マットボール送り】

マットを持ち、指示されたマットの番号にボールを落とさないように送る。



【引っ張り合戦】

棒やロープを引っ張り合い、相手を動かしたり、引き込んだりする。



【リアクションキャッチ】

どちらか一方の手から落とされたものを床に落ちる前に素早くキャッチする。

親子で運動を楽しむ「子どもスポーツふれあい事業」

【目的】

親子で運動の楽しさにふれ、児童の日常的な運動機会を増やし、子どもの体力向上を図る。

- 1 期 日 平成27年8月～平成28年1月
- 2 会 場 県内4会場で実施
(東尾張、西尾張、西三河、東三河)
- 3 参加者 各会場 親子100組(200名)
- 4 講 師 トップアスリート
- 5 内 容 本県で作成した『子どもの体力向上運動プログラム』をトップアスリートと一緒に親子で体験する。

子どもスポーツふれあい事業 愛知県教育委員会

アスリートと一緒に親子で体験! 『子どもの体力向上運動プログラム』

期日 平成27年8月26日(水)
時間 14時～16時30分(受付:13時30分～)

場所 日進スポーツセンター
(日進市蟹甲町家布58-1)

参加アスリート 北原 亘(フットサル)
森岡 薫(フットサル)

入場無料

小学校1年生から4年生の児童とその保護者 100組200名
(応募多数の場合は抽選となります。)



オーシャンズの選手たちと一緒にからだを動かそう!

プログラム内容

- ・アスリートのトークショー
- ・体力向上運動プログラム体験
- ・交流会

対 象 東尾張地区在住の小学校1年生から4年生の児童とその保護者100組200名
(応募者多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。なお抽選の際は、小学校1年生2年生は優先とさせていただきます。)応募での参加を希望される場合は、保護者1名につき児童2名の応募申し込みが必要です。

参加申し込み・お問い合わせ先は裏面をご覧ください。

2020年東京オリンピックあいち選手強化事業

2020年に開催される東京オリンピックに、本県ゆかりの選手を多数輩出するとともに、本県のスポーツを一層推進するため、強化指定選手の競技力強化と次世代のスポーツ人材の育成を図る。

強化指定選手に対する競技力強化事業

1 強化指定選手の認定

トップ(社会人・大学生): 82名

ジュニア(小・中・高生): 122名 計204名

※強化費の支援

トップ…最大20万円 ジュニア…最大30万円
(遠征、競技用具購入、医科学サポートなどに助成)

2 ジュニア強化指定選手育成事業

(公財)スポーツ医・科学研究所との連携

○ スポーツ外傷・障害のチェック(問診票)

○ 検査・測定(フィジカルチェック)

※8月と2月頃に実施 本人へフィードバック

○ スポーツ教育プログラム(講演会)

「スポーツ医学」「栄養学」「メンタルトレーニング」

等に関する講演会の実施

平成27年12月26日 ウィルあいち(予定)

次世代につなぐスポーツ人材育成事業

※中高生を対象とした大学・企業との連携事業

1 連携4大学の施設・人材の活用

日本体育大学、至学館大学、中京大学、
東海学園大学と連携し、専門的な実技指導
や講習会を実施する。

(11月から2月までの期間で実施計画中)

2 競技団体による強化事業助成

各競技団体が実施する、次世代向け強化事業
に対し、企業・大学からの講師謝金、旅費、
会場使用料等を助成する。

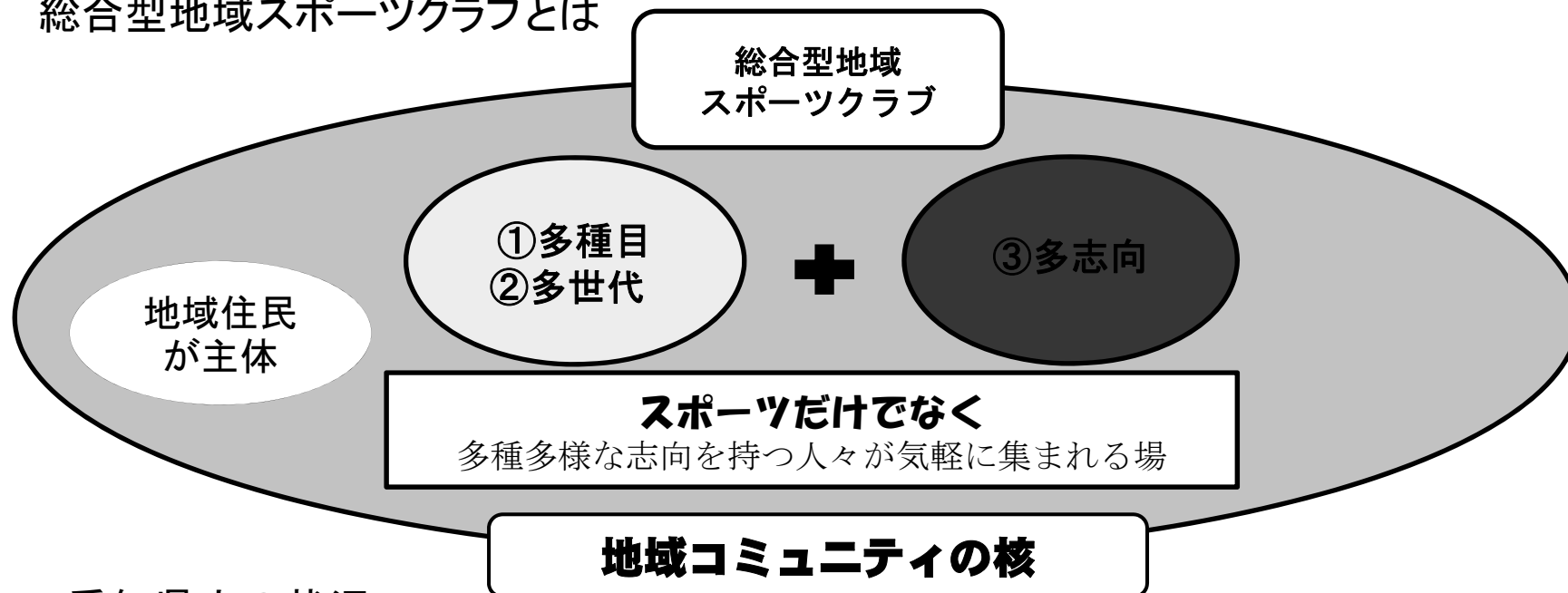
愛知県で開催される（開催を目指している）主な国際競技大会等の状況

2015(平成27)年10月	リオデジャネイロオリンピックハンドボール競技 女子アジア予選愛知・名古屋大会 会場：愛知県体育館
2016(平成28)年 6月	第100回日本陸上競技選手権大会 （リオデジャネイロオリンピック代表選手選考会） 会場：パロマ瑞穂スタジアム
2017(平成29)年 4月	第93回日本選手権水泳競技大会 （世界水泳グアダラハラ代表選手選考会） 会場：日本ガイシアリーナ
2019(平成31)年 9月～10月	ラグビーワールドカップ2019 会場：全国12会場（豊田スタジアムなど）
2020(平成32)年 7月～ 9月	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 ◇ サッカー、野球・ソフトボール競技の愛知県での開催に向けて招致活動中 ◇ 愛知県での事前キャンプ実施に向けて誘致活動中
2020(平成32)年10月～11月頃	FIFAフットサルワールドカップ2020 ◇ 愛知県での開催に向けて招致活動中

生涯スポーツにおける取組

総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

1 総合型地域スポーツクラブとは



2 愛知県内の状況

- 県内54市町村中50市町村で創設済み
- 県内で131クラブが活動中(平成27年4月1日現在)

【総合型地域スポーツクラブの意義】

県民の誰もが、「いつでも」、「どこでも」、「いつまでも」スポーツに親しむことができる環境を作り上げるためにも、今後も計画的な創設が必要である。

【課題】

総合型地域スポーツクラブの運営に携わる人材や指導者の不足が深刻であり、それらの養成が急務であること、また学校運動部活動との連携についてなど、課題も多い。